

# 令和7年度 夜見われもこうの家 地域連携推進会議

- 日時 : 令和8年3月13日(金) 10:30～
- 場所 : 夜見われもこうの家
- 参加者 : 地域の酒造会社様、地域の障害児通所サービス事業所様、  
米子市障がい者支援課様、保護者様、ご利用者様  
理事長、GHサービス管理責任者、GH管理者

## (1) 事業運営への協力・理解の御礼

平素より当法人の運営にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
当法人は『地域に開かれた』『地域に愛される』『地域に信頼される』  
施設を目指します。  
当法人では利用者さんのことを『なかま』と呼んでいます。  
(共に働くなかま、共に生活するなかま)

## (2) 地域連携推進会議の趣旨説明(目的)

### ①利用者<sup>と</sup>地域<sup>との</sup>関係づくり

グループホームのなかまが地域の一員として生活を送るためには、利用者<sup>と</sup>地域<sup>との</sup>関係づくりが重要である。この会議を通じてお互いに顔の見える関係<sup>を</sup>構築することで、日頃からお互いに声を掛け合えたり、なかまが地域行事に参加しやすく地域の中でより良い生活を送るための関係づくりを目指します。

### ②地域の人へのグループホームや利用者に関する理解の促進

構成員によるグループホームへの訪問を実施することにより、地域に開かれた施設になることを目指します。  
障がいのある方のグループホームでの生活に対する理解の促進と施設や職員と地域の人との繋がりづくりを推進することを目的とします。

### ③グループホームやサービスの透明性・質の確保

グループホームは通所系のサービスと比較すると外部の目が入りにくい。地域に開くことによりグループホームの運営やサービスの透明性を確保するため、地域の関係者等を含めた構成員による会議の開催や施設を訪問する仕組みの構築が重要となります。

### ④利用者の権利擁護

なかまは障がいにより言葉で意見を伝えることが難しい場合も多いため、なかまの思いがサービスに活かされているか、利用者が希望する生活を送ることができているかなど、会議の中で話し合われることが重要である。意見表出そのものが難しいなかまに対して施設側としても利用者の意思決定支援にどのように取り組んでいるか等を、地域の人に伝える良い機会にもなります。

## (3) 議題

### ○グループホーム・地域の連携

#### ・障がいについて

障害者とは『身体障害』『知的障害』『精神障害』があるために、日常生活や社会生活に

において相当な制限を受けるものを指すと障害者基本法では定義されています。  
さらに障害者総合支援法では、難病がある方も同様であると強調しています。  
なかまは主に知的障害をお持ちです。  
知的障害とは、日常生活を送る上で必要な能力や読み書き、金銭、時間、数の概念、  
コミュニケーションスキル等が実年齢より平均以下の機能というのが特徴です。  
ただし、なかまによっては他の人より得意なこともあり、その苦手とすることは  
人それぞれ多種多様です。  
またなかまの高齢化も進み、『支援』から『介護』の領域へ移行しつつあります。

### **・グループホームの特色**

女性2、男性1の合計3つのユニットがあり、定員は20名(女性13名、男性7名)です。  
ショートステイ（短期入所）で女性2名、男性1名も随時受け入れております。  
決まった時間（スケジュール通り）に過ごすのが得意なかまもおられ、それぞれ個人の  
時間を大切にしながらも、自然とみんながリビングに集まり支援者も交えて談笑したり  
ゆっくりテレビを見たりして楽しんでおられます。

### **○サービスの透明性・質の確保**

#### **・なかまの日常生活の様子について**

掃除や洗濯等身の回りのことで、ご自身でできることは基本的にはご自分でしていただきます。  
苦手な部分は支援者と一緒に行い、出来ることを増やしていけるよう  
日々練習しています。  
休日には、外食や買い物等へ出かけたり、温泉や日帰り旅行に行ったりと余暇支援も  
提供しています。公民館祭りやじげおこし等地域行事にも積極的に参加しています。

※実際の余暇活動（バーベキューやスイカ割りなど）の写真を見ていただく。

#### **・支援体制について**

現在夜間は世話人が3名常駐しています。（15:00～翌8:30）  
重度のなかまもおられる第2、第3ユニットでは朝の起床時から出勤後の片付けまでの時間  
（6:00～10:00）と、夕方の帰宅時から就寝準備ができるまでの時間（15:00～19:00）も  
各ユニットにそれぞれ1名ずつ支援者を加配しています。  
土日祝日などでなかまの通所先がお休みの日は吾亦紅とかわさき吾亦紅の  
日勤の職員がローテーションで日中の支援に入ります。  
また、平日でもなかまが心身の不調等で通所先をお休みされた場合は支援者が  
見守りや食事の準備等します。

#### **・BCPの策定状況について**

1月6日にも震度5強の地震がありました。幸いにも目立った被害はありませんでした。  
GHでは平常時から様々な災害（被害）を想定して準備もしており、2回/年の避難訓練も  
行っています。  
訓練とはいえ、不安からパニックになられるなかまもいれば、いつもよりテキパキと  
行動されるなかまもおられます。

※実際の事業継続計画書を見ながら説明。

## ・虐待・事故・ヒヤリハットの報告

薬を服用しておられるなかまも多く、また個別でも薬の種類や服用頻度が多い方もおられ、以前は誤薬が複数回ありました。

都度、検証し対策をしてきました。現在では配薬マニュアルを作成し、世話人同士でダブルチェックし、さらに服用前になかまにも薬包の日付等を確認してもらうトリプルチェックをすることで、誤薬等を防ぐことに成功しています。

それでも万が一誤薬があった場合でも、対応マニュアルを作成しており、医師や薬剤師、看護師に指示を仰ぐようにしています。

また、なかまも年を重ねるごとに足腰も弱くなり、躓きや転倒などの事故も増えてきたように見受けられます。支援者の目がない場面も多々あるので、録画されているモニターで確認し、今後の事故を未然に防ぐ対策もしています。

## ・支援者の様子

なかま一人ひとりの得意・苦手、障がい特性、身体的特性などを理解し、日々それぞれのなかまにあった支援が提供できるように心がけています。

## ・利用者の意向アンケート（個別支援計画）

※なかま本人同意の元、実際の個別支援計画書を見ながら説明。

1. なかまのニーズ（したいこと、困っていることなど）
2. ニーズを達成するために必要な支援、本人が頑張ること
3. ニーズを達成したときの生活像（短期的、長期的）

## **（４）質疑応答など**

・20名定員とのことですが、現在は満床ですか？

→現在18名のなかまが入居しており、女性2名の空きがあります。

利用希望の問い合わせも多くいただいており、随時見学対応や体験利用を行っています。

その中でお互いにマッチングすれば正式に入居の運びとなります。

・災害時の避難する際に必要なものとかはありますか？

→ヘルメットや防災頭巾など頭を守るものや、歩いて避難できないなかまのためにも車イスやストレッチャーなども必要と感じています。

→うちではこの前の地震で外に避難したのですが、小雨も降っており大きなビニールシートがあればと思いました。また寒かったのでそのあとは通園バスの中で暖をとりながら待機していました。避難した後のことも考え準備が必要ですね。

・お酒を飲まれるなかまはおられますか？

→当ホームでは飲酒も可能です。お風呂上りやバーベキューをした際などに

飲まれる方もおられます。ただし服薬の関係で飲酒を控えてもらっているなかまもいます。

→うちの酒造会社では11月～12月頃にお酒づくり体験を行っています。

オリジナルのラベルなども作れるので、もしよかったら参加してみてください。

・事業柄、トラックの往来や保護者さんの送迎等でご迷惑おかけしていないですか？

→当ホームでも送迎車の往来も多いですし、お互いに譲り合ったり気を付けていきましょう。

お互い様です。

- ・長年お隣同士ですが、初めて施設内に入らせていただきました。  
普段はお互いに挨拶を交わす程度でしたが、このような会議に参加させていただき  
より顔見知りになれ、今後もよりお付き合いをさせていただけたらと思いました。

#### **(5) グループホーム内の見学**

男性ユニット、女性ユニット、トイレ、お風呂、リビング、なかまの居室を見てもらう。

- ・リビングも日当たりが良く気持ちいいですね。
- ・なかまの部屋もそれぞれ個性的ですが、きちんと整理整頓されていますね。
- ・トイレも複数あり、使う人も安心ですね。匂いもなくきれいにされていますね。

お褒めの言葉をたくさんいただきました。